

## 令和3年度 学校関係者評価実施報告書（まとめ用）

学校番号	62	学校名	静岡県立遠江総合高等学校	記載者	樽松 一樹
------	----	-----	--------------	-----	-------

本年度の取組（重点目標はゴシック体で記載）

	取組目標	成果目標	自己評価	関係者評価	意見
ア	基本的な生活習慣の確立と規範意識の向上を軸に、心身ともに健康・健全で他の生命（いのち）を尊ぶ心を育てる教育を推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校長身だしなみ指導0（ゼロ）の継続</li> <li>・欠席、遅刻、早退者数の減少 (昨年 1日平均：欠席8.5人、遅刻4.7人、早退1.2人)</li> <li>・生徒指導件数 10件以内 (昨年 3件、延べ12人) (一昨年16件、延べ30人)</li> <li>・さわやかな挨拶が日常的に交わされる学校</li> <li>・生徒手帳の利用率昨年比増 (一昨年1日2回以上利用 42%)</li> <li>・自己有用感の向上(キャリアアンケート昨年比増) (昨年1年75.3%、2年60.6% 3年65.6)</li> <li>・生徒間のいじめ、0（ゼロ）をめざす。</li> <li>・生徒相談件数 昨年比減 (昨年 延べ256件)</li> <li>・朝食摂取率95%以上 (昨年95.2%)</li> <li>・集会、式典において校歌を声高らかに歌える。(目指す生徒像)</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒の挨拶が素晴らしい。</li> <li>・欠席、遅刻、早退や転学、退学が増加しているのでは。コロナの影響か。</li> <li>・自己有用感が昨年度の1年が2年になり下がっているのが気になる。</li> <li>・不登校傾向の生徒が増加したのが気になる。</li> <li>・コロナの影響もあり不安定な中、創意工夫して取り組んでいる。</li> </ul>
イ	系列・年次・教科を超えた協力体制のもと、遠高16の力の育成をめざしたキャリア教育の定着と改善を図り、多様な進路実現をめざす。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・生徒アンケート(研修課主管)で「キャリア教育を推進している」が昨年比増(昨年86.4%、一昨年85.3%)</li> <li>・キャリア教育に関する評価アンケートで、『聴く力』と『計画的に取り組む力』に関して「できない」と回答する生徒0%、『自ら行動する力』と『学びに向かう力』に関して「できる」又は「ややできる」と回答する生徒75%以上</li> <li>・2年次への円滑な移行とキャリア学習の接続をサポートする。</li> <li>・進路決定率100%（3年次）</li> <li>・希望進路決定率 2年次80% 1年次60%以上</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識向上の姿勢が見られる。</li> <li>・新しい「キャリア教育」など地域に根ざした教育活動の推進に期待している。</li> <li>・生徒本人の意識にいかにか働きかけるかは、難しい課題である。</li> </ul>
ウ	学習習慣の定着を柱にした基礎学力の向上ならびに、全ての教科科目でわかりやすく、主体的な学びをめざす授業改善と評価の改善に取り組む。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家庭学習時間1日平均60分、定期テスト1週間前から90分をめざす。</li> <li>・落ち着いた朝読書の定着と新聞活用指導の継続</li> <li>・図書室の利用者数増</li> <li>・定期訪問時の研究授業や研究協議の参加率100%</li> <li>・全教員がアクティブラーニングを意識した授業を管理職の授業観察時に実践(実施率100%)</li> <li>・授業公開週間時の授業参観率80%以上</li> <li>・測定ツールで把握した学力に基づき、授業改善に取り組んだ教員80%以上</li> <li>・年2回の授業アンケートの実施と活用(継続)</li> <li>・全科目で評価方法の点検を行い、シラバスに反映させる。(実施率100%)</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・今後一層の改善が期待できる。</li> <li>・自主学習は、目指すことや学びたいこと、学ぶ意義が見つければ自ずと取り組むと思うが、勉強が苦手な子が多い中、時間を増やすのはなかなか難しいのでは。</li> <li>・授業参観は課題も多いと思うが、Web等の活用も検討してみることも手段の一つかと思う。</li> </ul>
エ	新学習指導要領への移行、高大接続改革の進行を踏まえ、新しい教育課程の検討を軸にした力	<ul style="list-style-type: none"> <li>・教育改革、高大接続改革の理解を深めるための校内研修の実施と外部研修への積極的な参加</li> <li>・教育課程の点検、検討を進める。(社会に開かれた教育課程を意識)</li> <li>・ポートフォリオの導入、実践</li> </ul>	B	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・必要な推進を期待している。</li> <li>・ESDの推進など連絡をいただければ協力したい。</li> </ul>

様式第3号

	リキュラムマネジメントの推進を図る。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・校務内規の点検継続</li> <li>・ESD（持続可能な開発のための教育）の理解推進</li> </ul>			<ul style="list-style-type: none"> <li>・計画的に推進してほしい。</li> </ul>
オ	双方向の積極的な地域連携と外部発信により、社会に開かれ、地域に愛される学校づくりを推進する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・キャリア教育に限らず、生徒自身が地域に出て行く機会を増やす。</li> <li>・各部活動による年1回以上のボランティア活動の実施</li> <li>・系列や専門分野での外部人材の活用推進</li> <li>・学校案内をさらに見やすく改善する。</li> <li>・学校だより、学校新聞の内容を点検し、各2回発行</li> <li>・学校ブログの更新、週1回以上</li> <li>・各部活動の活動状況、学校行事の様子等を、大会や行事終了後1週間以内に、ホームページに掲載</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・商工会との連携をしていくのはどうか。</li> <li>・ポスター等、生徒の力が地域で活かしている。</li> <li>・森小学校との交流事業が興味深い。</li> <li>・地域と連携し、様々な取り組みを進めている。</li> </ul>
カ	効率の良い業務遂行、業務改善ならびに行事の点検と精選を進め、職員の適正なワークライフバランスの推進と安全・安心な教育環境の整備に努める。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・年3回の防災訓練のうち、事前通知なしの訓練の導入検討</li> <li>・学校警備及び防災計画の継続的な点検、改善</li> <li>・時間外勤務の出勤簿への正確な記入</li> <li>・1ヶ月あたりの時間外勤務 45 時間以内、年間 360 時間以内</li> <li>・夏季休暇の完全取得</li> <li>・定時退勤日 <ul style="list-style-type: none"> <li>午後4時40分退勤励行</li> <li>午後6時完全退勤</li> </ul> </li> <li>・平日 <ul style="list-style-type: none"> <li>午後7時退勤励行</li> <li>午後8時完全退勤</li> </ul> </li> <li>・部活動ガイドライン履行達成率80%</li> <li>・コンプライアンス研修毎月1回</li> <li>・教職員の不祥事0、体罰0</li> <li>・監査・検査等の指示・指摘事項0</li> <li>・日頃からの清掃、点検、整備（校舎内外、農場含む）、危険箇所等の早期発見と改善に努め、施設に関する事故0</li> </ul>	A	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナ対応のため難しい面もあったと思うが、工夫して取り組んでいる。</li> </ul>